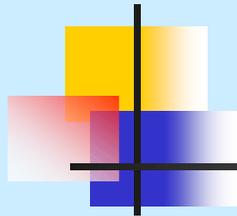


# 平成15年3月期中間 決算説明会

---

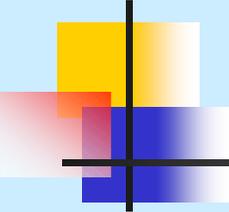
平成14年10月31日  
日本証券金融株式会社



# 単独ベースの決算概況

---

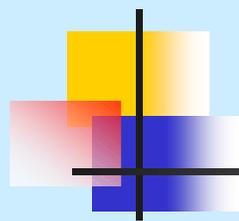
- 1 .経常利益・中間純利益増加
- 2 .貸借取引貸株料による収益増
- 3 .国債保有とその運用益



# 1. 經常利益・中間純利益増加

単位 :百万円

	実績	前年同期 (増減率)	当初予想 (増減率)
営業収益	11,603	12,587 ( 7.8%)	11,000 (+ 5.4%)
經常利益	1,976	908 (+ 117.5%)	1,100 (+ 79.6%)
中間純利益	1,219	876 (+ 39.2%)	800 (+ 52.4%)



## 2.貸借取引貸株料による増収

貸借取引貸株残高 (上期平均)

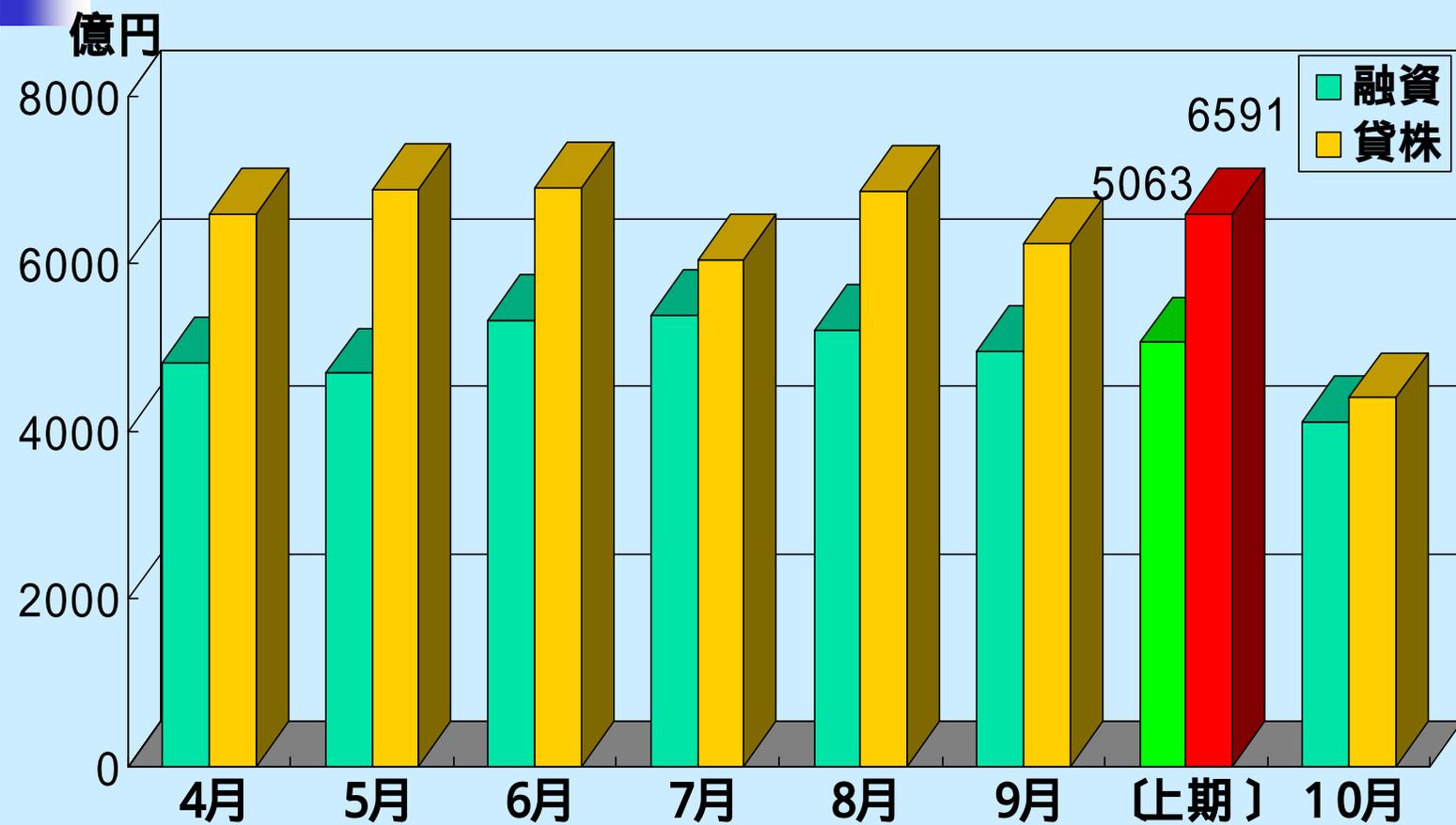
6,591億円

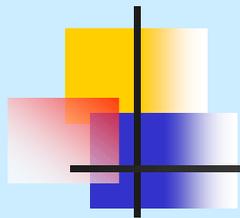
(前年同期 6,484億円)

(前年度平均残高 7,112億円)

5月10日決済分から徴収 約10億円

# 貸借取引平均残高の推移





### 3. 国債の保有とその運用益

---

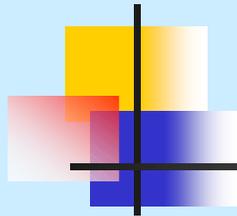
- 資産勘定の有価証券項目が大幅増

国債保有高の増加

運用益 (償還・売買益等を計上)

7億円程度の収益

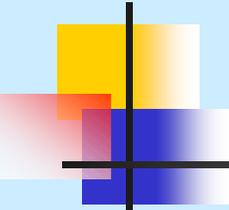
(「営業収益」中の「その他」勘定)



## 連結ベースの決算概況

---

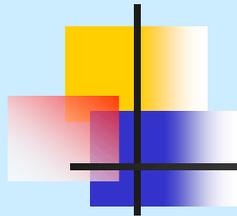
1. 経常・純利益ベースとも増益  
となったものの単独に比べ、  
増益率は縮小
2. 連結子会社・・・順調  
持分法適用会社・・・不調



# 1. 経常・純利益とも予想比増

単位 :百万円

	実績	前年同期 (増減率)	当初予想 (増減率)
営業収益	15,605	15,617 ( 0.1%)	14,000 (+ 11.4%)
経常利益	3,518	2,293 (+ 53.4%)	1,900 (+ 85.1%)
中間純利益	2,076	1,970 (+ 5.4%)	1,300 (+ 59.7%)



## 2. 連結各社の状況

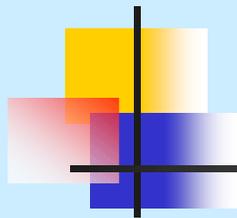
---

- 子会社

日証金信託銀行	増収増益（3倍増）
日本ビルディング	堅調（ほぼ前年並）
日本事務サービス	堅調（前年微増）

- 持分法適用会社

日本証券代行	今期(11月)厳しい
日本電子計算	予想比マイナス

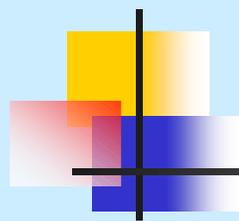


## 日証金信託銀行の概況

単位 :百万円

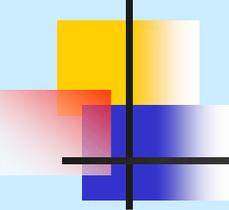
	今中間期	前年同期	増減率
経常収益	1,910	856	123.0%
経常利益	1,460	456	219.6%
中間純利益	846	265	219.1%

- 有価証券 (国債) の売却益、同利息等の運用益
- シンジケートローンなどの貸出しも順調



## 貸借対照表のポイント

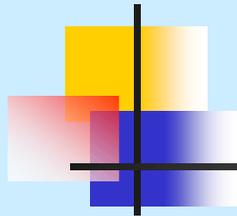
- 決算短信 連結 P. 9, 10 ・単独 P. 24, 25
  - ・ 有価証券」, 投資有価証券」勘定の増加
  - ・ 借入有価証券代り金」の減少
  - ・ 売渡手形, C・P」増加、短期借入金」減少
  - ・ 有価証券勘定の会計処理方法変更



## 損益計算書のポイント

---

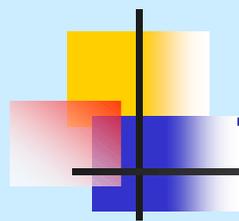
- 決算短信 連結 P.11 単独 P.26
  - ・ 有価証券借入料」の減少  
従来・・・貸付料 = 借入料 ほぼ平行  
今期・・・借入料 < 貸付料 貸株料の影響
  - ・ 営業収益中の「その他」の増加
  - ・ 特分法による投資利益」の減少



## 通期見通しのポイント

---

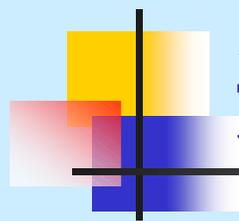
- 下期は上期に反して厳しい状況と予想
  - ・ 経常収益  
単独分が上期に引続き減収
  - ・ 経常利益  
連結は期初予想を上回る (日証金信託が好調)
  - ・ 当期純利益  
単独分の特別損失により期初予想を下回る



## 単独ベース 通期見通し

単位 :百万円

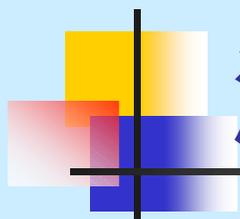
	予想数値	当初予想比	前期比
営業収益	20,000	3,000	5,484
経常利益	2,300	-	+ 854
当期利益	1,300	300	+ 52



## 連結ベース 通期見通し

単位 :百万円

	予想数値	当初予想比	前期比
営業収益	27,000	2,000	4,686
経常利益	4,500	+ 600	+ 696
当期利益	2,500	100	+ 489



## 注意事項

---

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。